

会場案内

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

JR御茶ノ水駅(JR中央線・総武線)より 徒歩2分
東京メトロ御茶ノ水駅(東京メトロ丸の内線)より 徒歩3分
神保町駅(都営新宿線・都営三田線・東京メトロ半蔵門線)より 徒歩8分
A5出口より

新御茶ノ水駅(東京メトロ千代田線)B1出口より 徒歩6分
小川町駅(都営新宿線)B5出口より 徒歩5分



お問い合わせ・参加申込先

NPO法人 メンタルケア協議会 事務局
※事務所開設 月～土曜日 10:00～20:00

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-55-14 セントヒルズ代々木403号
電話 03-5333-6446 Fax 03-5333-6445
E-mail office@npo-jam.org HP http://www.npo-jam.org/

●車椅子席をご用意できます。事前に事務局までご連絡下さい。
●懇親会参加・交流スペース展示の申し込みは、参加申込時に行ってください。

事前登録 インターネットで申し込むと参加費が200円引きになります。可能であればインターネットでお申し込み下さい。

	インターネット ホームページから	FAXで申し込み
振込入金	●参加費を振込。 〔振込先〕三菱東京UFJ銀行 西新宿支店(普)4934832 メンタルケア協議会 ※6月11日(金)までにご入金下さい。	●参加費を振込。
申し込み	●ホームページ(http://www.npo-jam.org)にアクセスし、シンポジウム参加申し込みのページに必要事項を入力し、送信。振込控えに書かれている振込日をご入力下さい。 (夕方以降や土日祝日の場合は振り込みした日の翌営業日になっているのでご注意ください)	●下記申込用紙へ必要事項を記入し、振込控え(金融機関利用明細等)を添付し、FAX送信して下さい。 (FAX 03-5333-6445)
受付確認	●すぐに、ご登録頂いたメールアドレスへ受信確認のメールを返信いたします。 (届かない場合は、メールアドレスの記入などに間違いがないかご確認後、ご連絡下さい)	●メールアドレスがない方には、FAXで「参加証」を送付します。
当日	1週間以内に「参加証」をメール送信いたします。	開演10分前までに、「参加証」を受付にご提示下さい。

当日受付 当日受付時に整理券を発行し、事前登録受付終了後(開演10分前を予定)整理番号順にご入場頂きます。事前登録者が優先となりますので、着席できない場合があります。ご了承ください。

FAX申し込み用紙〔FAX 03-5333-6445〕 ※申し込みは一人様ずつお願いいたします。

ふりがな 氏名	勤務先名
	職種
住所 〒	TEL
<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅	FAX
	e-mail
メンタルケア協議会 会員(1,500円) 非会員(2,500円)	メンタルケア協議会シンポジウムに参加するのは…… 初めて・ 回目 懇親会に参加を希望……… する(参加費:事前登録 一般¥2,500/会員¥1,500)・しない 交流スペースに展示を希望……… する(費用はかかりません)・しない

2010
6月27日
10:30▶17:45

明治大学アカデミーコモン
3F アカデミーホール

●東京都千代田区神田駿河台1-1
●JR御茶ノ水駅 御茶ノ水口徒歩2分

定員 1,192名(車椅子席をご用意できます)
参加費 事前登録 一般 ¥2,500 会員 ¥1,500
当日受付 一般 ¥3,000 会員 ¥2,000
※ホームページ予約…¥200割引

懇親会 事前登録 一般 ¥2,500 会員 ¥1,500
当日受付 一般 ¥3,000 会員 ¥2,000
※ 昼休みにメンタルケア協議会総会が開かれます(会員のみ参加可・お弁当付き)

膨大な数の人たちが、
社会的支援が届いていない
ひきこもり、外来ニート、未治療・治療中断

長期にわたるひきこもりは約300万人、
その中には精神障害が原因の人が少なくない。
通院しているが「6ヶ月以上、就労、就学、通所などをしていない」ニート状態の人が約40万人。
未治療、治療中断の人も少なくない。
そのほとんどの人たちは必要な社会的支援を受けられていない。
私たちはこれから何をすれば良いのか、
支援に取り組み始めている方々をお招きして、徹底討論してみたい。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 **メンタルケア協議会**
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-55-14 セントヒルズ代々木403号 電話 03-5333-6446 Fax 03-5333-6445
E-mail office@npo-jam.org HP http://www.npo-jam.org/ ※事務所開設 月～土曜日 10:00～20:00

社会的支援が届いていない膨大な数の人たちへの支援を考える

～ひきこもり、外来ニート、未治療・治療中断～

Program

9:30	受付開始
10:30	シンポジウム開演
10:30～10:35	開会挨拶 浜田　晋 （メンタルケア協議会顧問）
10:35～11:25	【座長】白石 弘巳（東洋大学ライフデザイン学部教授）・西村 由紀（メンタルケア協議会理事） 第1部　最近の精神保健医療福祉施策の動向 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課
11:30～12:30	第2部　地域で支援が届いていない膨大な数の人たち 【孤立している家族】—— そのあまりにも過酷な状況 野村 忠良 （東京つくし会会長） 【膨大な数の『外来ニート』に注目しよう】—— 実態調査から見えた実現可能な支援策とは 平川 博之 （日本精神神経科診療所協会副会長） 【『ひきこもり』の実情】—— ひきこもり当事者・親・家族と関わって見えてきたこと 井手　宏 （全国引きこもりKHJ親の会・西東京「萌の会」会長）
12:30～13:30	……………【昼休み】……………
12:45～13:15	特定非営利活動法人メンタルケア協議会総会

Profile

野村 忠良 のむらただよし（東京つくし会会長）
1964年東京教育大学文学部哲学科入学。1966年臨済宗廣徳寺で僧籍に入る。1969年東京教育大学中途除籍。1970年還俗。1972年知的障害児入所施設「社会福祉法人滝乃川学園児童部」就職。1979年知的障害者更生施設「社会福祉法人滝乃川学園成人部」へ移籍。1988年同施設退職。1989年　精神障害者小規模作業所「梅の木の家共同作業所」就職。1995年精神障害者小規模作業所「レスポワール工房」へ異動。2004年同作業所（2003年小規模通所授産施設に変更）定年退職。
【家族会活動歴】1975年府中市精神障害者を守る家族会入会。1996年東京都精神障害者家族会連合会理事就任。1997年東京都精神障害者家族会連合会副会長就任。全国精神障害者家族会連合会評議員就任。1998年全国精神障害者家族会連合会監事就任。1999年府中市精神障害者を守る家族会会長就任現在に至る。2000年全国精神障害者家族会連合会監事退任。2005年東京都精神障害者家族会連合会会長就任現在に至る。

平川 博之 ひらかわひろゆき（日本精神神経科診療所協会副会長）
【略歴】1980年5月金沢医科大学神経精神科入局。1988年1月医療法人社団　光生会平川病院副院長。同年3月ひらかわクリニック院長。1995年10月介護老人保健施設ハートランドぐらんぱぐらんま開設。2005年4月医療法人社団光生会理事長。
【主な役職等】社団法人日本精神神経科診療所協会副会長・東京精神神経科診療所協会会長・社団法人全国老人保健施設協会常務理事、研修委員長・東京都老人保健施設連絡協議会副会長・日本成年後見法学会理事・社団法人東京都医師会広報委員会副委員長・社団法人八王子市医師会理事

井手　宏 いでひろし（全国引きこもりK・H・J・親の会・西東京「萌の会」会長）
1998年会社を退職後自身の会社を起業し車イス介助や運転ボランティア活動を開始。同時にひきこもりを抱える親・家族の相談を受け始め、2002年2月にK・H・J・全国引きこもり親の会の西東京支部「萌の会」の会長として活動、現在に至る。

朝比奈 ミカ あさひなみか（中核生活支援センター「がじゅまる」センター長）
1988年東京都社会福祉協議会にて、高齢者の就労・生活相談、福祉全般の広報、出版企画、調査研修、研修等の業務にあたる。2004年、社会福祉法人一Routeにてがじゅまるの創設にかかわり、同年10月から現職。

【座長】羽藤 邦利（メンタルケア協議会理事長）・西村 由紀（メンタルケア協議会理事）

13:30～15:40　**第3部　各地で始められている新しい取り組み**

【対象を限定しない、総合相談の活動から】
—— 千葉県市川地域でのアウトリーチ型総合相談事業のなかでは、ひきこもりやホームレスなど、社会的支援から疎外された多くの人たちに出会うことになりました。
朝比奈ミカ（中核生活支援センター「がじゅまる」センター長）

【福祉サービスを取り入れながら、小さな支援を紡ぎ、つないで行く試み】
—— 病気・介護・仕事の経験や持つてる資格をみんなの財産として共有すれば、私たちは出会えます。
満窪 順子（非営利型一般社団法人たまぷらねっと代表理事）

【ひきこもりを支援する“窓の会”活動】
—— 家にひきこもりがちな精神障害者への戸別訪問と、フリースペースの提供
小松 正泰（元全家連理事長、「窓の会」代表）

14:30～14:40　……………【休憩】……………

【困難事例への訪問の経験から】—— その人らしい多様な生活を応援する支援とは
寺田 悦子（多摩在宅支援センター円理事長）

【ACT-Kにおける、未治療・医療中断者への関わり】
—— 未治療・中断の人たちの問題は人間不信と医療不信、人間関係の再構築が大切
高木 俊介（たかぎクリニック院長、ACT-K代表）

【通常の外来診療を担いながら重度の障害者の地域支援を試みる】
—— いつからでも、どの診療所からでも、はじめられる地域支援
新居 昭紀（びあくクリニック院長）

15:40～15:55　……………【休憩】……………

15:55～17:40　**第4部　総合討論**

支援が届いていない人たちを支援するために私たちは何から始めれば良いのか

17:40～17:45　閉会挨拶　**穂積　登**（メンタルケア協議会前理事長）
18:00～　懇親会〈アカデミーコモン2F　研修室〉

会場

満窪 順子 みつくぼじゅんこ（非営利型一般社団法人たまぷらねっと代表理事）
6年弱にわたる精神科病院での看護助手を経て、40歳で看護師資格を取得。その後国立市で精神障害者通所作業所設置に参加し、以後22年勤務。1昨年退職し一般社団法人たまぷらねっとを設立し、介護事業を始める。

小松 正泰 こまつまさやす（元全家連理事長、「窓の会」代表）
慶應義塾大学理工学部中退後、1993年三菱電機ビルテクノサービスで冷熱関係エンジニア ⇒ 管理職 ⇒ 役員 ⇒ 顧問を務め、2008年NPO法人あやめ会会長⇒理事長、2003年～2007年元全家連理事長を兼務。2000年～ひきこもる精神障害者を支援する“窓の会”代表。2009年地域活動支援センター　“窓の会”開設、現在に至る。趣味は酒と仕事（＋クラシック音楽観賞＋エクセル）

寺田 悦子 てらだえつこ（多摩在宅支援センター円理事長）
公立病院・民間精神病院で10数年間看護師として働いた後、1986年友人達と「共同作業所棕櫚亭」を開設。1997年（社福）多摩棕櫚亭協会にてピアス・生活支援センターなびい勤務。2005年NPO法人多摩在宅支援センター円を立ち上げ、訪問看護ステーション円（八王子市）開設。2007年独立型精神科訪問看護ステーション元（立川市）開設。その後、グループホーム・地域活動支援センター等開設。
【資格】看護師・精神保健福祉士・介護支援専門員

高木 俊介 たかぎしゅんすけ（たかぎクリニック院長、ACT-K代表）
1983年京大医学部卒。1984年～1992年光愛病院勤務。1992年～2002年京大病院精神科勤務。2002年～2004年浪人。2004年～たかぎクリニック開設。

新居 昭紀 あらいあきのり（びあくクリニック院長）
1966年3月東京大学医学部卒業。1968年3月東京大学医学部付属病院実地研修終了。
【職歴】1968年7月～1974年9月医療法人社団一陽会陽和病院勤務（東京）。1974年10月～1981年9月静岡大学保健管理センター講師。1981年10月～1983年2月聖隷三方原病院勤務・精神科医長。1983年3月～1990年10月同病院・精神科科長。1990年11月～1992年3月同病院・副院長。1992年4月～2003年3月聖隷三方原病院病院長。2003年4月～聖隷三方原病院名誉院長。2003年4月～2006年3月県精神障害者退院促進自立支援事業代表。2004年4月～精神障害者訪問ボランティア（カンガルーくらぶ）代表。2007年2月びあくクリニック開業、現在に至る。